

極微のシンメトリー～素粒子の世界:ノーベル賞と残された謎～



体験したいサイエンスがここにある！ 住宅の新

フルードも醸造こうじ菌でエネルギーを生み出す？
やしもん食薬と地球を救おう！
世界も食薬と旧石器時代へタイムスリップ！
生き物とロボットのあいだ

Tohoku University ~石器から分かるヒトの生活~

Science Café

2009
前期
プログラム

北に伸びる新幹線、東北はどうなる？どうする？

中高生、大学生、社会人、親子での参加大歓迎！

東北大學サイエンスカフェ

第46回 4.24 金 極微のシンメトリー～素粒子の世界:ノーベル賞と残された謎～

日笠 健一 kenichi hikasa／東北大學大学院理学研究科教授

会場 | せんだいメディアテーク
1階オープンスクエア

第47回 5.22 金 旧石器時代へタイムスリップ！～石器から分かるヒトの生活～

阿子島 香 kaoru akoshima／東北大學大学院文学研究科教授

時間 | 18:00～19:45 (17:30開場)

第48回 6.26 金 北に伸びる新幹線、東北はどうなる？どうする？

奥村 誠 makoto okumura／東北大學東北アジア研究センター教授

参加費 | 無料 (事前申込は不要です)

第49回 7.24 金 生き物とロボットのあいだ
～イグノーベル賞受賞研究から生まれた新しいロボット制御法とは？～

石黒 章夫 akio ishiguro／東北大學大学院工学研究科教授



第50回 8.21 金 こうじ菌と醸造食品～もやしもんワールド～

五味 勝也 katsuya gomi／東北大學大学院農学研究科教授

第51回 9.25 金 住宅の省エネルギーで地球を救おう！

吉野 博 hiroshi yoshino／東北大學大学院工学研究科教授



お問い合わせ 東北大學広報課 tel.022-217-4977

<http://cafe.tohoku.ac.jp/>

※テーマ・講演者については都合により変更となる場合があります。

Science Café

「サイエンスってむずかしい」、「質問したいことがあるけれども誰に聞いたらよいかわからない」

サイエンスカフェとは、そう思っている人たちと科学者が、

コーヒーカップを片手にサイエンスについて気軽に話し合い、サイエンスの楽しさを知ってもらう場です。

せんだいメディアテーク1階のオープンスクエアを会場に、毎月1回のペースで開催します。

予約なしに、無料で、誰でもその場で自由に参加できるスタイルです。

職場での仕事や学校が終わってから参加できるように、平日の18:00~19:45に開催します。

中高生、大学生、社会人の皆様、親子でのご参加をお待ちしています。

最初に、取り上げた話題に関する最新の研究成果を講演者が分かりやすく紹介します。

次に、ラウンドテーブルごとのトークタイムとして、それぞれのテーブルに

東北大学の学生・教員がファシリテーターとして参加し議論します。

最後は、全体的な質疑応答の時間とし、ラウンドテーブルでの議論で出た質問に講演者が答えます。

Scientist Profile



ひ かさ けん いち
日笠 健一

東北大学大学院理学研究科教授

日笠先生の専門は素粒子の理論です。一口に素粒子理論と言っても、数学に近い純理論的な分野から実験に近い分野まで広いスペクトルがありますが、その中ではボトムアップ的な立場で素粒子現象に関心を持ち、ヒッグス粒子、超対称粒子などの未解明の物理について、高エネルギー将来計画を視野に入れつつ研究されています。また、20年にわたり素粒子データブックの編集に携わっています。



いし ぐろ あき お
石黒 章夫

東北大学大学院工学研究科教授

石黒先生は、生き物が示すしなやかで巧みな動きのからくりをロボット工学の観点から研究しています。IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems(IROS2004) 最優秀論文賞、2008年イグノーベル賞(認知科学賞)など、国内外の多数の賞を受賞されています。



あ こ しま かおり
阿子島 香

東北大学大学院文学研究科教授

阿子島先生は、人類の文化が形づくられてきた悠久な旧石器時代を中心に、世界の先史時代について幅広く比較文化の方法で研究しています。遺跡に残された僅かな形跡から、人間たちの生活の実態に迫るために、石器の刃の部分を顕微鏡で観察し、複製石器と比較する実験考古学などを進めてきました。アメリカ、ロシア、中国、フランスなどと学術交流しながら研究を行なっています。



ご み かつ や
五味 勝也

東北大学大学院農学研究科教授

五味先生は、もともと国立のお酒の研究所(あるんです!…今は独立行政法人になっていますが)で20年間ほどこうじ菌と酵母の研究を行っていました。大学に移ってからも、こうじ菌を対象としたバイオテクノロジー研究を専門的に行っており、わが国単独で完成させたこうじ菌の全ゲノム解析にも大きく貢献されました。現在は、このゲノム解析結果から得られた多くの遺伝子の情報を、学術的・産業的に活用するための研究を精力的に進めています。



おく むら まこと
奥村 誠

東北大学東北アジア研究センター教授

奥村先生は、「人類の発展のために不可欠な知識や意見の交換のために、人が会う仕組みを可能にするのが交通。その素晴しさを人類全体が理解すれば戦争はなくなるはず」という信念を持ち、地理学、経済学、統計学、応用数学などを駆使しながら、都市間を結ぶ新幹線や航空サービスの使われ方、地域への影響に関する研究に20年以上取り組んでいます。最近はインターネットが交通に与える影響に興味を持っているそうです。



よし の ひろし
吉野 博

東北大学大学院工学研究科教授

吉野先生は、建築環境工学の分野、特に住宅の温熱環境・空気環境・省エネルギー問題において幅広く研究を実施しています。太陽熱利用、シックハウスの防止、省エネルギー住宅などに関する研究に従事し、日本建築学会賞、空気調和・衛生工学会論文賞などを受賞されています。



講演内容はホームページをご覧ください。

<http://cafe.tohoku.ac.jp/>